

# 月刊『B-maga』媒体資料

2017年3月吉日



サテマガ・ビー・アイ(株)

サテマガBi  
SATEMAGA BROADBAND & INTERACTIVE

B-magaとは 

Development & Broadcasting & Business  
**B-maga**

- 月刊『B-maga』
- 2002年6月 創刊
  - 発行日：毎月10日(月刊発行)
  - 発行部数：5,000部

毎号さまざまな特集を企画、さまざまな切り口でコンテンツビジネスの動向を紹介しています。

## 月刊誌にプラスして

- 月刊『B-maga』定期購読者に週1回メールNEWSを配信中

• 読者数推計=5,000×α (社内回覧率が異常に高い)

- ホームページ <http://www.satemaga.co.jp>
- twitter [https://twitter.com/B\\_maga](https://twitter.com/B_maga)
- facebook <https://www.facebook.com/satemaga>

でも日々情報発信しています。



月刊『B-maga』は、

月刊誌だけに留まらず、人気のメールニュース&月刊『B-maga』ダイジェスト版&Web&SNSで多面的に情報発信。また、2016年から電子書籍版も販売開始。

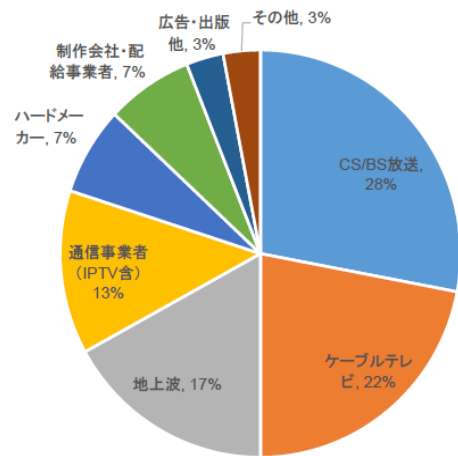
他の業界紙にはない**機動力と発信力で業界発展の一助に。**

全読者の**80%以上**が

CS・BS、ケーブルテレビ、地上波、IPTV、  
大手通信事業者、OTT、コンサルティング等  
メディア/コンテンツビジネス関係者



- 月刊『B-maga』を読む理由  
業界動向の把握・情報収集＝95%  
事業展開・経営判断の参考＝85%
- 月刊『B-maga』でよく読む記事  
ほとんど全部＝80%  
加入世帯数ランキング等データ＝90%  
特集・キーパーソンへのインタビュー＝75%
- 月刊『B-maga』で評価すべき点  
公正かつタイムリーなデータ集計と分析  
デジタルメディアビジネスの最新動向を網羅



月刊『B-maga』定期購読者アンケート2014.12より(N=724件)

創刊時から、毎週・毎月、情報を発信し続けています。

## サテマガBIの事業展開

サテマガBIでは、『B-maga』とともに…

- ケーブルテレビ業界唯一のデータ集『ケーブル年鑑』を発行。
- ケーブルテレビ&多チャンネル放送業界最大のイベント「ケーブルコンベンション」のセミナー企画を電通チームとして、企画立案&運営を担当。(3年連続)
- 独自&共催によるセミナー事業を展開
- 多チャンネル放送研究所+音好宏(上智大学教授)編著『メディア融合時代到来!』等、メディア関連の書籍も発行
- 衛星テレビ広告協議会様(CAB-J)発行『メディアデータブック』&メールマガジン配信を担当



CS/BS放送事業者、ケーブルテレビ事業者の皆さまとのネットワークとB-magaならではのアイディアとノウハウを駆使し、さまざまなメディアを通じて多様な情報発信を心がけております。

月刊『B-maga』は、2017年6月に

# 創刊15周年

を迎えます。



これまでご支援いただきました皆様、心より御礼申し上げます。

月刊『B-maga』はさらなる読者の皆さまのニーズにお応えべく、2017年4月より、販売価格の見直しを行い、定期読者様向けのサービス拡充を進めてまいります。

## 1.B-maga誌面強化

特集企画の深堀りはもちろん、アナリストや研究者等に執筆いただく連載筆者を拡充。また、動きが激しいメディア業界の動向をより詳しく、かつタイムリーに情報提供すべく、特集企画とは別に、旬な情報に特化した短期集中連載企画を多数実施予定です。現在、ドローン、4K、宇宙ビジネス等の短期集中企画を計画中です。

## 2.定期読者向けに毎週発行しているメールニュースの受信アカウントを拡充

2002年6月の創刊時から発行してまいりました「B-maga News」。以前からご要望が多かった受信アドレス数を増加。これまでの1読者1アドレスから、5アドレスに拡充いたします。

## 3.B-maga&ケーブル年鑑で収集・集計したデータを定期読者様限定でご提供

B-magaで集計している専門チャンネルの視聴世帯数や純増数、ケーブルテレビ局のデータ集、OTT事業者の人気コンテンツランキングなど、多様なデータを定期読者様限定でご提供します。

なお、データ内容は2017年6月に詳細を決定し、ご提供開始する予定です。

## 4.メディア事業に特化した共催セミナーや独自セミナーへの優待制度

を開始致します。

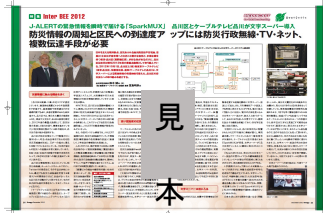


●特集企画と連動したタイアップ

- 企業TOPインタビューやイチオシの製品の紹介
- 実際の導入事例のレポート
- 導入局及び事業者様との対談
- 新製品リリースや重要事項の発表時期に合わせた記事掲載  
～B-magaトップページに掲載。自然なかたちでの訴求が可能～

●掲載記事をパンフレット・チラシとして制作できます

- 毎週月曜日発行のメールニュース（購読者数5000以上）でのPRも可能です。



Twitter & Facebook等で連動した情報発信も可能です。  
ここは、他の業界誌にはない部分です。



- ケーブルコンベンション & Inter BEE等の大型イベントでは、  
両イベント向けにB-maga掲載記事を使用したプロモーションツールを作成
- ケーブルテレビ特集（7月・8月予定）では、各ケーブル局経営者向けに献本実施
- ケーブルコンベンション2016 & Inter BEE2016では、B-maga特別版  
（フリーペーパー）を作成。両催事も初日に全1000部が無くなるなど、実績も十分！  
今年も、昨年以上の部数と規模で実施を計画中です。
- B-maga取材・掲載原稿および写真をスポンサー様  
Webサイト上にて掲載。  
また、その情報を B-magaメールNEWSで告知



多くのタッチポイントを提供。読者はもちろん、より多くの方々との  
コミュニケーションを可能にしていきます。

	掲載位置	料金(税別)	サイズ
4C(カラー)	表四	60万円	271mm×198mm(変型)
	表二	50万円	297mm×210mm(A4正寸)
	表三	45万円	297mm×210mm(A4正寸)
	記事中1P	40万円	297mm×210mm(A4正寸)
1C(モノクロ)	記事中1P	30万円	297mm×210mm(A4正寸)
	記事中1/2P	15万円	123mm×190mm

以上の他、編集部の取材・誌面制作による『記事広告』もございます。料金等ご相談ください。

◎お申し込み〆切：毎月15日

◎広告原稿入稿〆切：毎月25日

◎発行：毎月10日

**【お問い合わせ・お申し込み先】**

サテマガBI(株) 担当：田中絵美子 tanaka@satemaga.co.jp  
 TEL.03-5565-7830 FAX.03-5565-0830 東京都中央区築地2-14-1 新井ビル4F 〒104-0045

**月刊『B-maga』はメディアビジネス企業の  
 強力なパートナーとして、新しい発想と情報を注入します**

月刊『B-maga』は、2002年から今日まで、激しい変化に柔軟かつスピーディーに対応してまいりました。

2017年は、BS&110度CSにおける4K本放送開始に向けての準備期間であるとともに、2015年から始まったマルチデバイス視聴の本格的な流れがさらに顕著になる一年になるのではないのでしょうか。2017年～2020年にかけて、メディアの動向は、目まぐるしいスピードで従来以上に激しい動きを見せていくことでしょう。

月刊『B-maga』では、メディア業界、そして関連するさまざまな業界を幅広くウォッチし、さまざまな情報提供を心がけて、読者の皆さま方のニーズを満たせるよう努めて参ります。また、CS・BS&ケーブルテレビの業界全般の動向はもちろん、地上波放送局、通信・ケータイ事業者、OTTサービス、コンテンツ、家電メーカー&ソリューション企業等の動向や情報通信政策等、誌面を通じて、新しい発想と新しい情報を注入し、多チャンネル放送業界の活性化と発展に貢献していきたいと考えています。

それと同時に、月刊『B-maga』、メールニュースなど、サテマガBIが持つさまざまなメディアを活用し、広告主の皆さまのプロモーションにも貢献できるよう努めてまいります。

月刊『B-maga』編集長・池和田一里

■会社名：サテマガ・ビー・アイ(株)

所在地：東京都中央区築地2-14-1 新井ビル4F 〒104-0045

TEL.03(5565)7830 FAX.03(5565)0830

■設立：2002年2月2日

■代表取締役社長：一瀬悦子

■資本金：1,000万円

■事業内容：

【出版業】衛星とケーブルテレビに特化した専門情報誌の発行のほか、  
メディアビジネス関連書籍などを発行

【セミナー企画・運営】メディアビジネス関連セミナーの企画・実施

【印刷物の企画・編集】企業の社史編集・発行、DVDブック等の編集 等

【その他】デザイン・広告企画制作、イベント運営 等

2017年1月20日現在

